

山行NO NO. 1793-1

写真・文 GT

日時 2018. 04. 19 (木) 快晴

山域 頸城山塊・焼山(2400m) 標高1750mまで

コース 笹倉温泉発5:30-空沢橋-池ノ平-標高1750m11:25-笹倉温泉14:50

標高差 笹倉温泉約450m~焼山2400m(約1750mまで)=約1300m

〃

参加者 GT、KH

焼山は遥かに遠かった

笹倉温泉発5:30。天気は無風快晴高温。温泉上の橋から雪はあった。

厳しい林道を上る。雪が硬く、トラバースが多く苦戦。

標高約1100mの大曲で若者に追いつかれる。若者は大曲でなく真っ直ぐ上っていった。

25歳の彼は、結局、頂上に上り、1時間滞在。帰路、林道で我々を追い抜き、30分早く温泉着。

話せば、ヨーロッパルートに経費節減の為、テント泊で行きたいと言っていた。(テントは多分、認められていないと思いますが)

明日は、白馬だが、二股から猿倉に歩き(上り約5km)2号雪渓辺りを滑りたいの弁には、驚くと同時に、若い方は凄いと思った。

大曲がりから、広大な焼山北面台地を進む。気温が上がり暑く大汗を掻く。



笹倉温泉上



シールが重く辛い上りとなる。焼山台地は、傾斜が緩くなかなか高度稼げなかった。若い衆は、先行したらしい。雪上に新しい痕跡が続いていた。ダラダラ上りが続き、高度は稼げない。

雪原に場違いなポールが立っていた。こんな山中に??と思ったが、実はここ、夏は林道が伸びている。その標識だった。

上りの予定時間が迫っていた。目安は12時。標高は1750m。すでに6H歩いている。頂上まで、まだ650m=2H以上掛かる。こんなに高度を稼げない山も珍しい。大曲でルートを誤ったことも大きい。

11時35分終了し滑降に入る。雪は期待の完璧な「ザラメ」でなかった。やや、モナカっぽい感じだった。それでも滑降は楽しく嬉しい。あっという間に大曲着。概ね上りコースを下る。下り切ると難しい錯綜した林道下りになる。

GPSと睨めっこで下る。途中で今朝の若い衆に抜かれた。頂上に1時間滞在し、かつ我々を抜かすとは??!!年齢を感じますね。滑りにくい林道をこなし、笹倉温泉着。桜が満開だった。



笹倉温泉は桜が満開

